

## 【ウェルビーイング指標について】

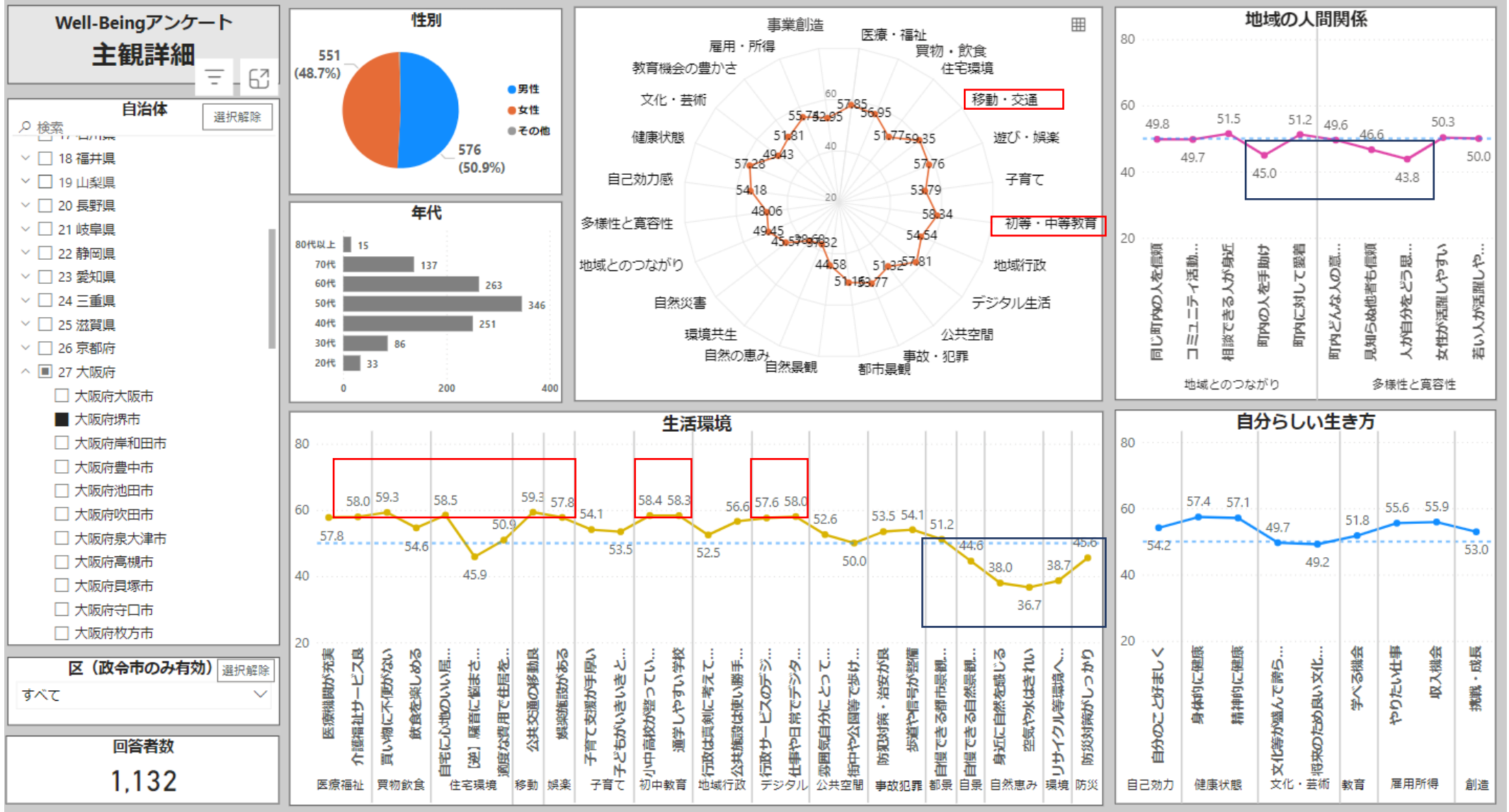
- 国（デジタル庁）が、地域ごとのウェルビーイングの相対的な傾向を表し、施策等の方向性を議論するために策定
- 客観指標と主観指標からなり、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（ウェルビーイング）」を数値化・可視化
- 客観・主観データは市町村単位で無料公開

## 【堺市南区の世代別主観指標について】

- ①南区の主観指標データについて、カテゴリを絞らずに可視化
- ②深堀したい項目を選定（若い世代のウェルビーイング、その他解決したい項目等）

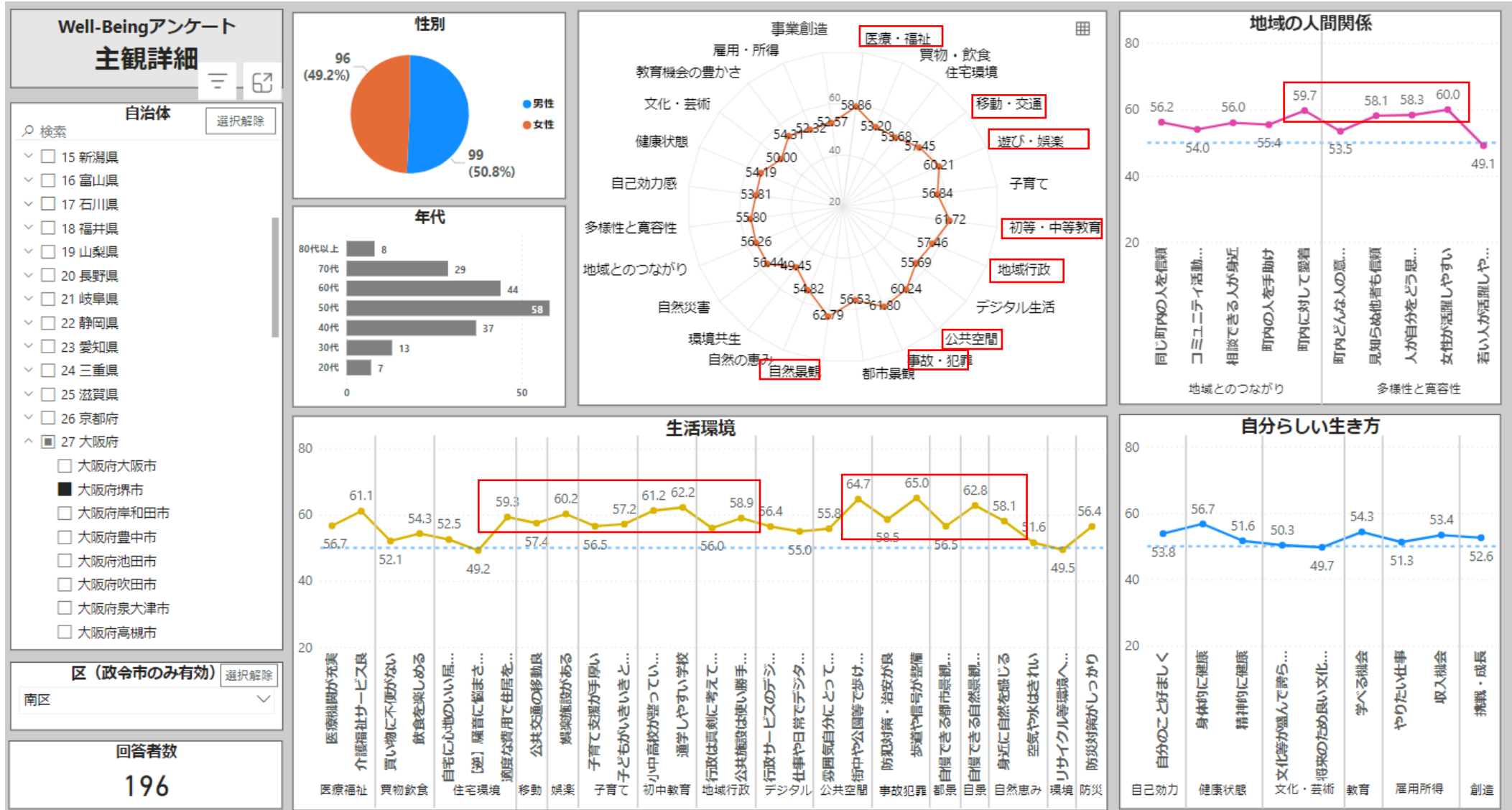
# 堺市全体 主観指標 概要

自然・一部の地域の人間関係の指標が全国平均と比較して下回る



# 堺市南区 主観指標 概要

全体的にどの指標も全国平均と比較して高いが、50代以降の回答割合が多い。



# 世代別 堺市南区の主観指標

堺市南区各世代偏差値



# 世代別 堺市南区の主観指標

項目	事実	解釈, 考察	他区との比較
全体	70代80代の指標偏差値が全体的に高い	?	堺区を除いて同じ傾向と言える。
防災・防犯	20代の指標偏差値：低い	防災等を意識する機会があまりない？	各区それぞれの傾向があり、一概には言えない。
地域とのつながり	20代30代の指標偏差値が低く、高齢世代になるにつれて指標偏差値が高くなる	地域との接点がすくないため	他区は高齢世代でも低いケースがあり、一概には言えない
将来のために良い環境を残したい	20~60代まで、指標偏差値が50以下、70代以降になると50以上に転じる	—	同じ傾向があると言える
学べる機会	50,60代の指標偏差値が50以下	会社員後半時代になると学ぶモチベーションは低下する？	区によって異なるため一概には言えない
自宅に心地の良い場所	20,40,50代の指標偏差値がマイナス	子どもが大きくなり会話や接触が低下する？	区によって異なるため一概には言えない
リサイクル等環境への取り組み	世代毎でバラつきが生じる	世代というよりは個人によって異なるのではないか	区によって異なるため一概には言えない
同じ町内の人を信頼できる	高齢者になればなるほど指標偏差値が増加できる		70,80代については同じ傾向があると言える
自然	40代より下の世代は指標偏差値が低下	自然は存在するが、若い世代にその訴求ができていない？	南区が突出して自然の偏差値が高いと言える
医療・介護	40代のみで指標偏差値が50付近 それ以外の世代は高い	—	区によって異なる。エリア特性の影響あり？
買い物・飲食	20代のみ偏差値指標が50以上でそれ以外の世代は全体的に全国平均に近い	世代別とエリア特性によって大きく異なるのでは	区によって異なる。エリア特性の影響あり
子育て	40代を除き、全体的に指標偏差値が50以上	—	東区を除き、全体的に50以上の偏差値の区が多い。
行政デジタル	全体的に指標偏差値が50以上	—	全体的に50以上ではあるが、一部の区一部の世代で50を下回る。